

SMBC グループ ESG スモールミーティング要旨

第一部：常務執行役員 伊藤 文彦

第二部：専務執行役員 工藤 禎子

第一部. ESG への取組み

P.4 SMBC グループの足許の動き

2018/10 月サステナビリティ推進委員会を設置し、委員長を CEO とすることで、CEO が直接サステナビリティを推進する体制を構築。今年の 4 月には、経営理念の改定や、「サステナビリティ宣言」および「SMBC Group GREEN×GLOBE 2030」を策定し、サステナビリティの実現に向けて行動していくことを内外に顕示。

P.5 重点課題の選定

SMBC グループがサステナビリティ経営を遂行する上での重点課題として、「環境」「コミュニティ」「次世代」の 3 つを選定。選定は、私たちの根底にある、住友と三井の歴史を振り返った上で、事業を通じて社会への価値を生み出し続けるという観点で実施。

P.6-7 価値創造モデル

現在、SMBC グループの「価値創造プロセス」の見直しを実施しているところ。P.7 に循環図を示しているが、価値創造モデルでは SMBC グループが持つ強みである非財務資本を原動力に、それらがステークホルダーや SMBC グループに対して価値として還元されてくるまでの循環プロセスを表している。

P.8 環境への取組み（TCFD・セクター別方針）

現在、TCFD 提言の 4 つの開示推奨項目に沿って対応を進めており、中でも気候変動シナリオ分析においては、グローバル金融機関初の数値開示を実施。セクター別方針については、この 4 月に、一部の方針の改定、および「気候変動」「生物多様性」に重大な影響を与えると考える、「水力発電」、「石油・ガス」、「タバコ製造」、「自然保護地域」、の 4 つのセクターの方針を追加策定。

P.10 コミュニティ・次世代への取組み

コミュニティに関する取組みとして、「GREEN×GLOBE Partners」の設立を紹介。「GREEN×GLOBE Partners」とは、環境・社会課題といった単独での解決が困難な問題について、同じ志を持つ仲間を集め、課題解決に向けて共に行動することを目的としたコミュニティ。今後、中堅・中小企業のお客さまをメインターゲットに、環境・社会課題に関する情報発信や、同じ課題認識を持つ企業を集めてのプロジェクト組成支援といった形で、お客さまと共に社会課題解決に取り組んでいく。「次世代」に関する取組みとしては、金融教育に注力。

P.11 ガバナンス

取締役会の構成および役員報酬制度について説明。役員報酬制度においては、現中期経営計画期間より、経営による ESG への取組み加速を目的に、定性評価項目に ESG への取組み状況を追加。

P.12 COVID-19 への対応

COVID-19 への対応として、お客さまの資金繰り支援やファンド設立や寄付による感染終息に向けた医療支援等、我々の社会的意義や重点課題に沿った対応を迅速に実施。

P.13 ステークホルダーとのコミュニケーション

お客さまとのコミュニケーション増加を目的に、従業員向けの研修を拡充し、従業員の ESG/SDGs に関する知見の引き上げに取り組む。また、従業員コミュニケーションの観点で、役員による「タウンホールミーティング」を実施。投資家とのコミュニケーションにおいては、情報開示の拡充と投資家とのコミュニケーション増強を課題として認識。これらに注力することで、ESG スコアの向上および投資家とのコミュニケーション深化に努める。

第二部. サステナブルビジネスへの取組み

P.16 環境認識

世界経済及び日本経済は COVID-19 や地政学リスクの高まり等の影響もあり減速傾向。気候変動に対する対策及び規制強化を背景とし、欧州を中心にエネルギー転換の流れが本格化・加速化。特に投融資においては、ESG 投資及び ESG ファイナンスの組成金額が大幅に増加しており、今後もこの傾向は継続の見込み。

P.17 環境認識 (COVID-19)

COVID-19 は社会構造に大きな変化をもたらした。第一四半期のエネルギー需要の減少による二酸化炭素減少を一過性のものとせず、いかに継続する仕組みをつくるかが重要な課題。SMBC グループとしてはお客さまの様々なファイナンスニーズにも応えていく。本プレゼンテーションでは、SMBC グループのサステナブルビジネスのこれまでの取組みを振り返り、今後のビジョン及び施策をお示しする。

P.18-19 サステナブルビジネスの歴史

三井住友銀行は、2006 年に環境ビジネスに関する専門部署を設立し、環境「E」関連のプログラムをお客さまに提供、その後、対象を社会「S」に広げ、先進的な取組みを積み重ねてきた。現在も、E（環境）及び S（社会）を中心に、多くのお客さまの資金調達ニーズに応えている。

P.20-21 SMBC リーグテーブル

プロジェクトファイナンスの業界紙から、2019 年の再エネの取組みが評価され、歴代最多と並ぶ5度目の PF Global bank of the year を受賞。2020 年第一四半期の再エネ（PF）組成実績は世界トップ。

P.22 イノベーションへの取組み（成長産業クラスターでの産業創出）

三井住友銀行は、2010 年に成長産業クラスターを創設し、多くのイノベーション活動に積極的に取組んでいる。『産業創出・事業共創』にお客さまと取組み、ファイナンスを通じて社会課題を解決してきた。

P.23 イノベーションへの取組み（スタートアップ支援）

スタートアップ支援にも積極的に取組み。ピッチコンテストを毎年開催するなど、ベンチャー企業との事業創造・支援を実施する体制を構築。また、事業創出の志をもった方向けにコミュニケーションの場を提供し、数多くのイベントを開催。

P.24 国内外の主な受賞・評価

SMBC グループの活動を、マーケットから高く評価頂き、FT/IFC、環境省、経済産業省・東京証券取引所様等から多くの賞、ご評価をいただいている。

P.25 目指す姿と体制

SMBC グループは、お客さまのサステナビリティに係る経営課題や投資家の方々の ESG 投資ニーズを、サステナブルファイナンスやサステナ事業プロジェクトなどソリューション提供を通じて解決するグローバル・ソリューションプロバイダーを目指す。

P.26 具体的な施策

総合金融グループの強みを活かし、グローバルベースで多様なファイナンスソリューションの提供やお客さまの事業創出支援を行うことで、サステナブルな社会の構築に貢献していく。

サステナビリティを軸として金融グループの本業に取組み、社会に必要とされる金融グループとなることで、グループの企業価値向上に繋げたい。

以上